アンケート集計結果 パーク２４株主通信 2022（2021年10月期 通期株主通信にて実施）

2022年1月に発行した株主通信のアンケートにおいて、多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。当アンケートでは、各サービスの今後の取組みや当社グループのガバナンスへの取組みについて貴重なご意見やお言葉を大変多く頂戴しました。新型コロナウイルス感染症による影響については不透明な状況が続いておりますが、グループ一丸となって業績回復に向けて事業を推進しております。甚だ勝手なお願いではございますが、引き続きのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以下に、株主様からいただいたご質問やご意見の一部を紹介させていただきます。

株主の皆様からのメッセージをご紹介いたします。

株主様

環境保全のために、駐車場での充電器設置を増やすことを頑張ってほしい。

パーク24の駐車場がEV(電気自動車)の充電拠点となれば助かります。

パーク２４グループ

当社グループは、2021年12月にグループの持続可能な成長と中長期的な企業価値向上に向けて、マテリアリティ(重要課題)を特定し、サステナビリティに関する中長期目標を設定しました※。

環境に関するマテリアリティとして「持続可能な地球環境への貢献」を掲げ、取組みテーマのひとつとして「環境負荷低減への貢献」を設定しました。そのテーマにおける具体的な目標の中で、EV充電器については「2025年以降の新規開発タイムズパーキングにEV充電器設置」としています。

現在、当社グループは全国190カ所に209台のEV充電器（2022年4月末時点）を設置しています。今後は、世の中のEV普及の進度を見極めながらお客様の利便性向上につながるようにEV充電器の設置を進め、環境負荷低減へも貢献してまいります。

※マテリアリティおよび中長期目標については詳細は前回の株主通信2021通期のP7-8をご確認ください。
https://www.park24.co.jp/ir/data/business_reports.html

株主様

タイムズカーの台数をもっと増やして、使いやすいようにしてほしいです。

タイムズカーの地域拡大に期待しています。

パーク２４グループ

当社グループは、今期については全体方針として「絶対黒字化」を掲げていることから、モビリティサービスの車両数は前期末数値を維持する計画(約52,600台)としています。中長期事業方針としては「4つのネットワークの拡大とシームレス化」を掲げており、4つのネットワークのうちのひとつである「クルマ」＝「タイムズカー」は、将来的には10万台まで拡大する目標としています。➡ P7-8特集

モビリティサービスの規模の拡大は、お客様がいつでもどこでもクルマを借りることができる＝お客様にとって便利なサービスになることにつながり、便利なサービスだからこそさらに、利用していただける好循環を生むと考えています。

また、規模の拡大と同時に「適切な車両数の配備」にも取組んでいます。具体的には、エリアの需要に見合った適切な車両数を配備して、お客様の借りたいというご要望にお応えしています。

これからもお客様に選ばれる交通インフラサービスであり続けられるよう努めてまいります。

株主様

海外のめどがついたのは良かったです。一日も早く成長路線に戻ってください。

海外事業の方針や将来の見通しなどをもう少し詳しく知りたいです。

パーク２４グループ

駐車場事業海外(以下、海外事業)については、2020年に感染症が発生してから国内以上に甚大な影響を受け、`20年10月期、`21年10月期と2期連続で大幅な赤字を計上しました。今期については、上期業績ハイライト ➡ P3-4 のとおり、主な展開国の感染者数は減少傾向であることから駐車場の稼働は回復基調にあります。

海外事業の基本的な成長戦略は、国内と同様に「規模の拡大」です。そのため、今後は国内のビジネスモデルをベースとし、海外各国の事情に合わせた短期契約・小型駐車場「各国版タイムズパーキング」の開発に注力します。現在は長期契約・大型駐車場が多く、安定的に駐車場の運営ができるメリットがある一方で、エリアの環境に合わせて賃料改定や解約が難しいデメリットがあります。各国版タイムズパーキングの開発を進めることで、長期契約・大型駐車場に偏った事業ポートフォリオを最適化しながら規模の拡大を図り、収益の拡大に努めてまいります。

株主様

業績が低迷している状況なので、役員の報酬制度について知りたいです。

株主目線を取り入れた、株価を意識した経営を行ってほしいと思います。

パーク２４グループ

当社の取締役の報酬制度は前期に大幅な改定を行い、①基本報酬(50%)②短期インセンティブ(30%)③長期インセンティブ(20%)としました。③は今回新たに譲渡制限付株式制度を導入しました。これは、当社グループの持続的な企業価値の向上を図り、株主の皆様をはじめとするステークホルダーの皆様の視点も取り入れた経営を行うことが重要であるという認識に基づくものです。この評価指標は、連結経常利益、ROIC(投下資本利益率)に加え、中長期的な企業価値の向上に資する指標としてESG項目を採用しています。

なお、`21年10月期は感染症による甚大な影響をうけ赤字決算であったことを真摯に受け止め、当社の取締役(監査等委員である取締役および社外取締役を除く)の月額基本報酬の減額ならびに短期インセンティブおよび長期インセンティブを不支給としました。

引き続き、ステークホルダーの皆様と対話を重ね、ガバナンス強化への取組みを進めてまいります。

パーク24株式会社
A-03-29-2022.07-47,000-1

パーク24
株主通信2022

2022年10月期 第2四半期
2021年11月1日–2022年4月30日

PARK24 GROUP

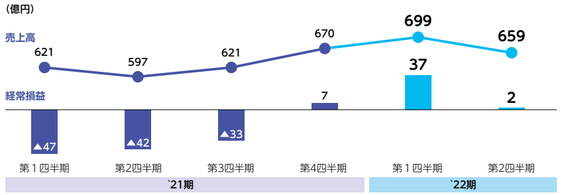
2022年10月期 上期の振り返り

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2022年10月期(以下、`22期)は、当期初に新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響を一定程度受ける前提のもと「絶対黒字化」の全体方針を掲げています。そのため、各事業ともに収益化を最優先させ、前期から引き続き事業の筋肉質化を推進することで収益基盤の強化を図っています。さらに、将来の成長に向けた基盤整備にも取組んでいます。

`22期上期は、国内外ともに2021年12月以降に急拡大した新種の変異型ウイルスの影響を大きく受けましたが、売上高1,358億円、経常利益39億円、親会社株主に帰属する四半期純損失は6億円となり、経常利益において3年ぶりに黒字となりました。➡ P3-4上期業績ハイライト また、四半期ごとの推移でも`21期第４四半期から当期の第２四半期まで3四半期連続で経常黒字となっております。

上期実績	`20期	`21期	**`22期実績**	`22期計画	計画差
経常利益又は損失	▲20億円	▲89億円	**39億円**	25億円	+14億円



2022年10月期 通期の見通しと取組み

下期についても、期初に掲げた取組み方針に則って事業を推進してまいります。モビリティ事業については、タイムズカー1台当たりの稼働を上げることで収益性を高める必要があるため、その取組みを強化します。具体的には、高需要エリアへのクルマの貸出しステーションの開発、休日に比べて稼働が低い平日の利用喚起施策(キャンペーン)などです。

通期の連結業績予想については、`22期上期の経常利益は計画を超過していますが、引き続き感染症の影響が不透明であることから、期初に公表した予想を維持します。

株主還元につきましては、「持続的成長に必要な投資資金以外の余剰資金は配当を中心に株主様へ利益還元させていただく」という基本方針に変更はありません。しかしながら、`22期の配当は期初に公表したとおり、当社グループの財務基盤の安定化を優先させる必要があることから、無配とさせていただいております。また、株主優待についても慎重に議論を重ねた結果、2022年6月14日に公表しましたとおり、中止とさせていただきました。

通期 連結業績予想	`20期	`21期	**`22期計画**
売上高	2,689億円	2,511億円	**2,830億円**
売上総利益	363億円	406億円	**637億円**
営業利益又は損失	▲146億円	▲80億円	**135億円**
経常利益又は損失	▲151億円	▲116億円	**85億円**
親・当期純利益又は損失	▲466億円	▲116億円	**25億円**

中長期事業方針の確実な実行に向けた新株式発行

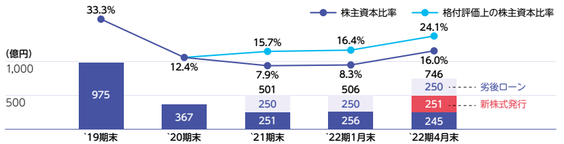
2020年から始まった感染症は、当社グループに甚大な影響を及ぼし、過去に経験したことのないほど業績の悪化を招きました。そのため、将来の成長に向けた投資を一時的に抑制すると同時に、あらゆるコスト削減を講じてきました。一方で、感染症禍においても、当社グループが従前から掲げている中長期事業方針「4つのネットワーク(人・クルマ・街・駐車場)の拡大とシームレス化」は変わりません。感染症の影響が軽微になり、各事業が再び成長に向けて最適なタイミングでアクセルを踏むことができる＝機動的に投資ができるよう、投資資金の確保については継続して議論していました。

その結果として、2022年４月に海外募集による新株式の発行を決断し、約251億円の資金を調達しました。株式市場が不安定な中、スピーディーに資金調達を行うことに加え、株価への影響を最小限に抑えることを考慮し、海外募集による手段を選択しました。

具体的な資金使途については、「シームレス化」のためのデジタル投資に約100億円、「拡大」における電気自動車を含めたモビリティ車両の購入に約150億円を充当する予定です。デジタル投資については、サービスアプリの一元化や決済手段の多様化といった「お客様の利便性向上」や、時間帯や平日・休日の需要によって提供サービスを切り替える「スペース収益の最大化」の実現を目指します。また、これらの既存サービスの改善や新しいサービスの設計は、現状の当社基幹システムでは限界があると考えているため、基盤システムの刷新も今後数年間で進めてまいります。➡ P7-8特集

海外募集による新株式発行概要	
発行株式数	16,000,000株
株式の種類	普通株式
新株式発行後の発行済株式総数	171,048,369株
募集方法	海外募集
払込金額の総額	約251億円

株主資本・株主資本比率の推移



新株式の発行によって株式が希薄化し、既存株主様の利益が毀損いたしましたが、調達した資金によって中長期事業成長を確実に実現することで、株主価値の更なる向上に努めてまいります。

なお、`22期上期末時点での株主資本は496億円、株主資本比率は16.0%となり、財務基盤の安定化に向け一歩前進をしました。

感染症が蔓延して以降、当社グループは非常に厳しい状況にあり、株主の皆様をはじめ駐車場の土地・施設オーナー様など、多くのステークホルダーの方々に支えていただきながら事業を継続してまいりました。外部環境はまだ予断を許さない状況ですが、業績は着実に回復しております。支えてくださる皆様に恩返しができるよう、これまで以上に力強く成長する企業へと進化してまいります。

引き続きのご支援･ご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 西川光一

上期業績ハイライト

`22期の期初は、国内外ともに新規感染者数が少なかったことにより人の移動が回復し、駐車場・モビリティサービスともに稼働が回復しました。しかしながら、2021年12月以降から新種の変異型ウイルスが急拡大したことを受け、国内では1月に全国的にまん延防止等重点措置(以下、重点措置)が適用されたことで回復が鈍化しました。その後、2022年3月に重点措置は解除され、再び回復基調となりました。海外の展開国においては、一部の国・地域において感染症の影響は継続しているものの、全体として回復傾向となりました。

この結果、売上高1,358億円、営業利益55億円、経常利益39億円となり、特別損失として、英国における土地オーナー様との個別の話し合いを通じた解約や賃料改定に係るリース契約関連損失15億円を計上したことおよび国内グループ会社の収益増加に伴い法人税等が大きく計上されたことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は6億円となりました。

上期 連結実績ハイライト	`20期	`21期	**`22期実績**
売上高	1,456億円	1,218億円	**1,358億円**
売上総利益	255億円	172億円	**296億円**
営業利益又は損失	▲12億円	▲65億円	**55億円**
経常利益又は損失	▲20億円	▲89億円	**39億円**
親・当期純利益又は損失	▲25億円	▲89億円	**▲6億円**

駐車場事業国内

当期初は、交通量が感染症流行前の水準に近づいたことから駐車場の稼働は順調に回復しました。その後、感染者数の急増による重点措置適用の影響を強く受け稼働は低下しましたが、重点措置解除後は再び回復しました。

このような中、更なる事業の筋肉質化に向け、不採算駐車場の縮小に向けた取組みを行うと同時に、感染症の影響下でも収益化が可能な駐車場の厳選開発を促進しました。そのため、感染症禍ではあるものの、収益性は着実に改善しています。また、今後の収益性向上に向けアプリケーション等を用いた決済手段の多様化やより簡単に入出庫が可能な次世代駐車場サービスの構築を進めました。

この結果、国内の管理受託駐車場および月極駐車場を含めた総運営件数は25,272件、総運営台数は740,127台となり、売上高747億円、事業利益131億円となり、事業利益は前年同期から大幅に回復しました。

上期 事業別業績ハイライト		`20期	`21期	**`22期**
駐車場事業国内	売上高	788億円	729億円	**747億円**
	事業利益	66億円	64億円	**131億円**
モビリティ事業	売上高	367億円	316億円	**355億円**
	事業利益	15億円	12億円	**21億円**
駐車場事業海外	売上高	301億円	175億円	**256億円**
	事業損失	▲3億円	▲69億円	**▲26億円**

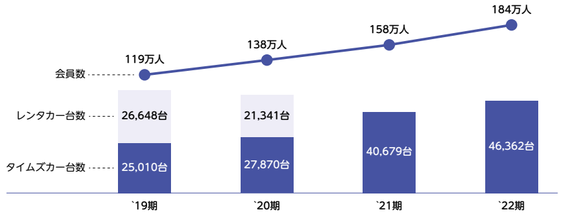
モビリティ事業

駐車場事業国内と同様に、当期初のモビリティ車両の稼働は回復基調にありましたが、1月の重点措置適用の影響を強く受け、稼働は大きく低下しました。その後、3月の重点措置解除後から4月にかけて徐々に持ち直しました。

このような中、タイムズカーの可変モデル(1車室から複数台を貸出すモデル)により、需要に応じた最適な車両提供を行う運用システムの構築を進めています。また、クルマの貸出ステーションを開発して、貸出場所を増やすことでネットワーク強化を進めると同時に、クルマの予約から解施錠、決済までをアプリで完結できるようにするなど、利便性の向上に取組みました。

この結果、当社の運営するモビリティ車両数は52,083台、会員数は前年同期末から26万人増加して184万人となり、売上高355億円、事業利益21億円となりました。

モビリティ事業 会員数・台数 上期推移　※車両台数は直営のみ



駐車場事業海外

主な展開国である豪州は、`22期の初めに発令されていたロックダウンや行動制限が段階的に緩和され、一部地域における集中豪雨による洪水の影響を受けたものの、駐車場の稼働は堅調に推移しました。英国においては、感染者数の急増により2021年12月に在宅推奨等の行動規制がありましたが、2022年２月のイングランド地方における規制撤廃以降、人の移動の回復に合わせて駐車場の稼働は回復しました。その他の展開国についても規制緩和の状況に合わせ稼働は堅調に推移しており、駐車場事業海外は全体として、堅調に推移しました。

このような状況の中、事業構造改革の一環として、駐車場の新規開発においては、日本国内におけるタイムズパーキングの特長である「小型・分散・ドミナント化」をベースとし、海外各国の事情に合わせた短期契約型駐車場「各国版タイムズパーキング」の開発を推進してきました。また、英国では駐車場オーナー様との個別の話合いを通じた解約や賃料改定によるコストの見直しを行いました。その他の国においても、管理・メンテナンスの効率化等により駐車場運営コストの削減を積極的に推進し、事業の筋肉質化を進めました。

この結果、海外の駐車場総運営件数は2,298件、台数は570,985台となり、売上高256億円、事業損失26億円となりました。

※`22期上期の海外各国の連結対象期間は2021年10月１日～2022年３月31日となります

多台数対応EV普通充電器をタイムズパーキングに導入

当社は、2022年3月に東京電力ホールディングス株式会社(以下、東京電力HD)と協働で電気自動車・プラグインハイブリッド車（以下、EV等）の充電に関する実証研究を実施しました。

この実証実験では、当社グループの時間貸駐車場タイムズパーキングに、東京電力HDが開発した「多台数対応EV普通充電器(以下、本製品)」を6台設置しました。本製品は、複数台のEV等を同時に充電する際に合計使用電力を抑制する機能を有しているため、駐車場内に設置しているその他電気設備である精算機や照明等が電気を使用している時にEV等が充電を開始しても、駐車場全体の使用電力が電気の契約容量を超えないように本製品が充電電流を制御します。

当社グループは、1998年よりEV等の普及を見据え、駐車している間にEV等の充電ができる「パーク＆チャージ」※サービスを開始し、利用動向の継続的な検証を行ってきました。今後、EV等は加速度的に普及することが予想されます。世の中の動向を注視しながら、EV等の普及促進の一助となり、当社グループの中長期目標に掲げる「2025年以降の新規開発タイムズパーキングにEV充電器設置」を可能とする取組みを推進し、カーボンニュートラルに貢献してまいります。

※ 全国93件のタイムズパーキングでサービス提供を行っています(2022年4月末時点)

「タイムズ西池袋第14」における実証実験の様子

多台数対応EV普通充電器

タイムズカーの新サービス「スグ乗り入会」開始

当社グループは、モビリティサービス「タイムズカー」において、入会申込みから最短15分でクルマの利用が可能となる入会受付サービス「スグ乗り入会」を開始しました※。

タイムズカーでは、お客様の状況に応じて選んでいただける4つの入会方法を設けていますが、今回新たに開始した「スグ乗り入会」は、入会申込みから利用開始までが最短15分で完了します。これにより、クルマが急遽必要になった際にすぐにご利用いただくことが可能となり、これまで以上に多くの方にモビリティサービス（カーシェアリング）をご活用いただきやすくなるものと考えております。

当社グループは今後も、モビリティサービスの拡充と利便性向上を図るとともに、ストレスのない移動環境の実現に向けて取組んでまいります。

タイムズカー入会方法（個人プラン）	
NEW スグ乗り入会	Webで完結！ 最短15分で利用可能
クイック入会	店舗でカンタン！ 最短当日から利用可能
インターネット入会	全プラン対応！ 最短5営業日から利用可能
カーシェア説明会	詳しく聞きたい！ 最短当日から利用可能
無人入会機	非対面で完結！ 最短当日から利用可能

タイムズカーの個人入会画面

※ 本サービスはタイムズカーアプリをダウンロードされた個人プランお申込みの方が対象です。運転免許証に記載の住所が現住所と異なる、もしくは免許証情報が更新されていない場合は対象外です。

地域特性に合わせた各国版タイムズパーキングの開発

当社グループは、駐車場事業海外における事業構造改革の一環として、国内の駐車場事業戦略である「小型・分散・ドミナント化」をベースに、海外各国の駐車場事業環境に最適化した駐車場「各国版タイムズパーキング」の開発を進めています。➡ P4上期業績ハイライト 特に昨今、海外では感染症禍のため現金や精算機などに触れずにサービスを利用したいというご要望が高いことから、アプリ決済をはじめとするキャッシュレスでの駐車料金精算を推進し、お客様にとって快適な駐車場づくりに取組んでいます。

こうした流れの中、豪州のSECURE PARKING（以下、SP）では、アプリと「近距離通信技術」を活用した駐車場を開発しました。SPのアプリと出入口にある通信機が通信することにより、アプリ上でゲートの開閉や精算が完了する仕組みで、精算機が必要ありません。以下の写真で紹介しているブリエンズ・ロード駐車場では、電気を引くことが難しい立地条件に合わせてゲートにソーラーパネルを設置し、使用電力の自給自足を行っています。電力コストを低く抑えることができ、さらに再生可能エネルギーを使用していることから、環境に配慮した駐車場でもあります。

当社グループでは今後も、各展開国の事業環境や地域特性に合わせて様々な工夫を凝らしながら駐車場開発を促進し、かつお客様の利便性向上に努めてまいります。

「近距離通信技術」を導入したブリエンズ・ロード 駐車場（豪州）

柔道部活動報告

当社グループは社会貢献活動の一環として2010年に実業団柔道部を設立し選手の育成強化を行っており、現在はオリンピック等の国際大会でメダルを獲得する選手が多数在籍しています。

2022年4月2日～3日に福岡で開催された全日本選抜柔道体重別選手権大会には20名の選手が出場し、6名の選手が優勝(以下の写真にて紹介)、3名の選手が準優勝、3名の選手が3位となりました。また、2022年10月6日～13日にウズベキスタンのタシケントで行われる世界柔道選手権大会に6名が出場※する予定です。

※出場予定選手：男子60kg級 髙藤直寿、阿部一二三、橋本壮市、増山香補、渡名喜風南、堀川恵(敬称略、髙藤選手以外の級は以下写真参照)

男子66kg級 **阿部 一二三** 選手 ©Kazuyuki Ogawa

男子73kg級 **橋本 壮市** 選手 ©Kazuyuki Ogawa

男子90kg級 **増山 香補** 選手 ©Kazuyuki Ogawa

男子100kg超級 **小川 雄勢** 選手 ©Kazuyuki Ogawa

女子48kg級 **渡名喜 風南** 選手 ©Kazuyuki Ogawa

女子63kg級 **堀川 恵** 選手 ©Kazuyuki Ogawa

優勝選手6名

ウクライナ緊急支援募金

当社グループでは、タイムズクラブ会員様へウクライナへの人道支援の協力を呼びかけ、多くの会員様から寄付としてのタイムズポイント(2,147,000円相当)をお寄せいただきました。会員様の寄付金と当社グループからの寄付金を合わせてUNHCR(国連難民高等弁務官事務局)に寄付をいたしました。今後、UNHCRによるウクライナおよびヨーロッパ地域での救援活動に役立てていただきます。

特集

中長期事業方針「4つのネットワークの拡大とシームレス化」に向けた取組み

4つのネットワークの拡大

- 駐車場 100万台
- クルマ（モビリティ車両）10万台
- 人（会員）1,000万人
- 街

シームレス化

お客様の利便性向上に向けた取組み

当社サービスをより使いやすく、より便利に提供するため、アプリや電子チケットなどの取組みを推進しています。

駐車場 人 タイムズパーキングのアプリ精算・出庫

全国のタイムズパーキング約2,800件で、精算機を使わずに会員組織であるタイムズクラブアプリで駐車料金の支払いができるサービスを開始しました。具体的には、スマートフォンで駐車場と駐車位置を指定して精算したのちにフラップ(車止め)が下がり、出庫できる仕組みです。精算機に立ち寄る必要がなく、簡単に駐車料金を支払うことができるため、ご利用のお客様からは好評をいただいております。

タイムズパーキングではこれまでもクレジットカードやICカードなど駐車料金の決済手段を多様化し、サービスの利便性を向上してきました。今後もサービスの拡充を図ることで、より便利な駐車場づくりを目指してまいります。

①アプリのGPSで駐車場を検索　②利用している駐車場を選択　③車室を選択し精算

クルマ 人 タイムズカー「スグ乗り入会」開始

当社グループはタイムズカーの会員登録が最短15分で完了する「スグ乗り入会」を開始しました。タイムズカー会員の入会申込みから車両の予約、ご利用、決済までをさらに便利に利用できます。➡ P5参照

クルマ 人 タイムズカーのアプリ解錠

当社グループは、タイムズカーの公式アプリで、予約したタイムズカー車両のドアを解錠・施錠できる新機能を追加しました。

これまでは、タイムズカーの解錠・施錠は、会員様一人につき一枚発行している会員カードを車両のカードリーダーにかざす必要がありましたが、今回のアプリへの機能追加により、会員カードを使わずにできるようになりました。これにより、タイムズカーの車両の予約からご利用、決済まで会員カードを一切使わずにアプリのみで完結することが可能になり、これまで以上にスムーズにご利用いただけるものとなりました。

今後も、会員の皆様のご要望にお応えしたサービスの拡充と利便性向上を図るとともに、ストレスのない移動環境の実現に向けて取組んでまいります。

アプリ画面のイメージ

解錠(利用)手続き　施錠(返却)手続き

スペース収益最大化に向けた取組み

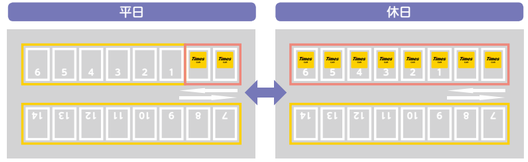
ひとつのスペースで提供するサービスを時間帯や平日・休日によって切替え、お客様の需要を満たすことでスペースあたりの収益を最大化する取組みを推進しています。

駐車場 クルマ 駐車場の車室の流動的な運用

当社サービスの時間貸駐車場タイムズパーキングは、平日の稼働が高い＝需要が強い、休日は平日に比べて低い＝需要が弱い傾向があります。一方、モビリティサービスのタイムズカーは、平日の稼働が低く、休日は高い傾向があります。そのため、駐車場の車室を、平日はタイムズパーキングのスペースを多くし、休日はタイムズカーの車両を多く設置することで需給バランスを調整する取組みを行っています。

各サービスの需要に合わせて供給を調整することで、お客様の需要に十分にお応えすると同時に、1車室当たり、1車両当たりの収益性の最大化を図っております。

タイムズ吉祥寺南町第４（休日）



時間貸駐車場のうち２台のみタイムズカー貸出ステーションとして活用

営業所より車両を配送し８台をタイムズカー貸出ステーションとして活用

	平日	休日
タイムズパーキング	需要高い	需要低い
タイムズカー	需要低い	需要高い

システム基盤の再構築に向けた取組み

当社グループのDX化推進の土台となる基幹システムの再構築に取組んでいます。

駐車場 クルマ 人 街 シームレスなサービス提供・イノベーションの創出に向けた業務・システムの構築

当社グループは「スペースでサービス提供」をしており、今後もスペースの活用は新しいサービスの提供とともに拡充していく方針です。

既存サービスのシームレス化に加え、将来のサービスもシームレスに提供するためには、現行の基幹システムを刷新する必要があると判断し、現在再構築を行っています。

サービスに関するシステムだけでなく、会計・バックオフィスに関するデータも一元管理することで、お客様にとって利便性が高く、当社グループにとって効率的な、収益性を高めることができる環境づくりに努めてまいります。

ビジネスモデル（「場所・スペース」での「サービス提供」）に最適なシステム基盤の構築

会社概要／株式の状況／株主メモ

(2022年4月30日現在)

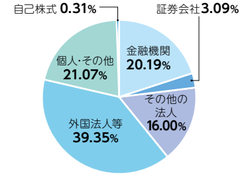
会社概要

商号	パーク２４株式会社	
本社所在地	〒141-8924 東京都品川区西五反田二丁目20番4号	
創業	1971年8月26日	
役員	代表取締役社長 取締役	西川 光一 佐々木 賢一 川上 紀文 川崎 計介 山中 新吾 大浦 善光（社外） 長坂 隆（社外）
	監査等委員である取締役	笹川 顕史 竹田 恒和（社外） 丹生谷 美穂（社外）
資本金	32,739百万円	
決算期	毎年10月31日	
従業員数	4,953人（連結）	
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人	

(2022年4月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	283,680,000株
発行済株式の総数	171,048,369株
1単元の株式数	100株
株主数	44,141名



株主構成

	人数（名）	構成比	持株数（千株）	構成比
政府・地方公共団体	0	0.00%	0	0.00%
金融機関	34	0.08%	34,528	20.19%
証券会社	30	0.07%	5,283	3.09%
その他の法人	299	0.68%	27,360	16.00%
うち、証券保管振替機構	1	0.00%	12	0.01%
外国法人等	369	0.84%	67,305	39.35%
うち、個人	63	0.14%	11	0.01%
個人・その他	43,408	98.34%	36,041	21.07%
自己株式	1	0.00%	528	0.31%

大株主の状況

名前	持株数（千株）	持株比率
有限会社千寿	21,746	12.71%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	16,166	9.45%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	8,910	5.21%
西川　光一	8,110	4.74%
西川　功	6,194	3.62%
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG（FE-AC）	5,374	3.14%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	5,058	2.96%
日本信号株式会社	3,853	2.25%
西川　恭子	3,200	1.87%
BNYM SA/NV FOR BNYM FOR BNYM GCM CLIENT ACCTS M ILM FE	3,137	1.83%

株主メモ

証券コード	4666
事業年度	11月1日～翌年10月31日
定時株主総会	毎年1月下旬
基準日	定時株主総会　10月31日 期末配当　10月31日
株主名簿管理人 特別口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

◉株式事務に関するお問い合わせ先

三菱UFJ信託銀行株式会社　証券代行部

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号

0120-232-711

（通話料無料／土・日・祝日を除く9：00～17：00）

※当社株式事務に関する一般的なお問い合わせも受け付けています。

◉ご注意

① 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっています。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

② 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっていますので、上記特別口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎいたします。

③ 配当金の口座振込のご指定につきまして、お手続きは原則、各口座管理機関を経由して、承ることとなっております。振込指定のお手続きについての詳細は、各口座管理機関にお問い合わせください。

④ 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

◉IR情報に関するお問い合わせ先

経営企画本部 グループ企画部

TEL：03-6747-8120　FAX：03-6747-8110

E-mail：ir@park24.co.jp

ホームページにもIR情報を掲載しています。

https://www.park24.co.jp/ir/

株主様向けアンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

https://www.e-kabunushi.com

アクセスコード 4666　いいかぶ　検索

空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。
（タイトル、本文は無記入）
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

スマートフォンからもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついたスマートフォンをお使いの方は、下のQRコードからもアクセスできます。
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（QUOカードPay500円）を進呈させていただきます。

(1809)

※本アンケートは、株式会社リンクコーポレイトコミュニケーションズの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
https://www.link-cc.co.jp
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」　MAIL：info@e-kabunushi.com

VEGETABLE OIL INK

FSC www.fsc.org ミックス 責任ある木材認証を使用した紙 FSC® C020828

UD FONT

地球環境にやさしいFSC認証紙と植物油インキを使用しています。